

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

213子育て支援

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	3	子育て支援
4年後のまち	①	地域や社会が保護者に寄り添い、親の成長を支援することにより、子どものより良い育ちを実現している。
	②	家庭、学校、地域、各機関が連携し、子どもと子育ての環境を守ることにより、子育て家庭が安全に安心して暮らしている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 地域や社会が保護者に寄り添い、親の成長を支援することにより、子どものより良い育ちを実現している。	回答			件数	比率	得点評価		設問② 家庭、学校、地域、各機関が連携し、子どもと子育ての環境を守ることにより、子育て家庭が安全に安心して暮らしている。	回答			件数	比率	得点評価	
	そう思う	どちらかというと思う	どちらとも言えない			どちらかというと思わない	そう思わない		わからない	無回答	そう思う			どちらかというと思う	どちらとも言えない
	59	11.8%	14.9%	14.9					70	13.7%	16.6%	16.6			
	129	25.7%	32.6%	24.4					163	31.8%	38.6%	29.0			
	151	30.1%	38.1%	19.1					134	26.2%	31.8%	15.9			
	42	8.4%	10.6%	2.7					36	7.0%	8.5%	2.1			
	15	3.0%	3.8%	0.0					19	3.7%	4.5%	0.0			
	86	17.2%							73	14.3%					
	19	3.8%							17	3.3%					
総数	501	100.0%						総数	512	100.0%					
有効回答数	396		100.0%	61.0				有効回答数	422		100.0%	63.6			
全設問の平均														62.3	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	ファミリー・サポート事業の利用件数(件)	ファミリー・サポート事業の年間の延べ利用件数。 事業の利用促進や援助会員(援助できる人)を増やすよう取り組み、過去の推移や将来の子どもの人数などを踏まえて、平成29年度に3,200件を目標とします。		H26	H26
				2,600	2,223
担当課	子育て支援総合センター	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 学童保育の保育時間延長実施により、学童終了後のお迎えと預かりの件数が見込みより少なかったこと、その他幼稚園・保育園のお迎え件数が減少したことによる。	指標の把握方法(数値の出所) 実際の利用者数から現状を判断して算出	
2	地域子育て支援拠点の利用者数(人)	子育て中の親子が好きな時に集まり、遊んだり、悩みを語ったりできる場所である「地域子育て支援拠点」の年間の延べ利用者数。 過去の推移や将来の子どもの人数などを踏まえて、利用者の増加を図り、子育て家庭の孤立化を防ぎます。		H26	H26
				27,000	29,630
担当課	子育て支援総合センター	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) 実際の利用者数から現状を判断して算出	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

213子育て支援

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	子育てについて近隣同士がお互いに関心を持ち合っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	19	3.9%	4.1%	4.1
取り組んでいる	66	13.5%	14.2%	10.7
少し取り組んでいる	139	28.4%	30.0%	15.0
あまり取り組んでいない	108	22.1%	23.3%	5.8
全く取り組んでいない	132	27.0%	28.4%	0.0
無回答	25	5.1%		
総数	489	100.0%		
有効回答数	464		100.0%	35.6

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	子育てサークルへの支援を充実します。	子育てサークル活動支援事業	子育てサークルのネットワークであるいこま育児ネットの企画会・交流会の開催支援やアドバイス、育児フォーラムの開催協力、行事の広報紙への掲載支援、育児サークルへの出前保育の実施。		子育て支援総合センター
①2	ファミリー・サポート事業における援助会員など、地域における子育て支援に関わる人材の確保に努めます。	ファミリーサポート事業	活動件数 2, 223件 ・交流会(2回)、フレンドスペース(4回)、出張登録会(4回)を開催し、会員の確保に努めた。また、44件のコーディネートを行った。 ・人材育成のためのスキルアップ講座を14回開催した。	・保育園の一時預かり、学童保育の時間延長等、他の子育て支援サービスの充実により相対的に需要が低下したと考えられる。 ・慢性的な援助会員の不足。その原因のひとつとして事故発生時等の負担の問題や、有償ボランティアにもかかわらず援助依頼内容のレベルの高さがある。	子育て支援総合センター
①3	子育てに関する相談や情報提供を行います。	各種育児相談事業	6か月児・10か月児・2歳6か月児・3歳児育児相談を実施し、育児に関する助言を行った。また、離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。		健康課
①4	ボランティア養成講座や子育て支援に関する研修会など、誰もが子育てに興味を持ち、参加できるような機会を拡大します。	ボランティア養成講座事業	子育て支援ボランティア養成講座を6回開催し、12人が修了した。次年度からの託児ボランティア活動や、子育て支援ボランティア団体への加入を予定している。		子育て支援総合センター
①4	ボランティア養成講座や子育て支援に関する研修会など、誰もが子育てに興味を持ち、参加できるような機会を拡大します。	母子保健推進員研修会事業	健康づくり推進員対象に年の2回の研修会を実施。 また、各種教室実施時に託児を行う「託児ボランティア」を養成し、離乳食講習会などの活動の場を提供した。		健康課
①5	子育て支援総合センターを整備し、ひろば事業、地域子育て支援拠点事業及びファミリー・サポート事業等を一体的に提供することで、子育て支援体制の充実を図ります。	子育て支援総合センターの整備	平成26年度から子育て支援総合センターを設置し、ファミリー・サポート事業とひろば事業を実施した。センター事務所とみつきランドの拡張整備は実施設計を完了した。平成27年度において、拡張工事を実施予定である。	施設拡張のための床取得の交渉に時間を要したため、翌年度にずれ込んだが、平成27年度9月には完了予定である。	子育て支援総合センター
②1	ワークライフバランスの実現を図るために、保育サービスの充実等、多様な働き方への支援を行います。	各種保育事業	通常保育以外の延長保育、病児・病後児保育、休日保育を実施し、多様な働き方への支援を行った。		こども課

第5次生駒市総合計画 進管理検証シート

213子育て支援

②2	子育てや家庭で心配なことなどの相談事業を実施するとともに、子育てに悩む人のメンタルケアができる人材の確保に努めます。	家庭児童相談室事業	18歳未満の児童について、育児に関する相談、子どもの発達や障害に関する相談、家庭関係に関する相談等、子どもの成長発達や家庭の様々な問題の相談に臨床心理士あるいは児童福祉士の資格を持つ家庭相談員が対応。 来所での相談のほかに「ゆう子育て相談ダイヤル」による電話相談も実施している。 (26年度)相談延べ件数 2,539件 相談件数増加に伴い、H25年度には相談員を増員し、相談業務の充実を図るとともに、平成26年度には、トラウマ、アタッチメントなどのメンタルケア研修への参加や児童虐待予防効果の高いCSP講師養成資格の取得など人材の育成にも努めた。		こどもサポートセンター
②3	育児教室など各種教室を行い、相談・交流の場を充実します。	各種育児教室事業	離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。		健康課
②4	事業・施設の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成し、啓発に努めます。	子育て応援パンフレット作成事業	平成26年度予定していた新しいパンフレットの作成は、財源としていた県補助金において、対象外事業となったことにより実施できなかったため、既存のパンフレットの情報更新を行うことで対応した。		子育て支援総合センター
②5	関係機関との連携を深めて、児童虐待の防止の啓発・発症予防・早期発見に努めます。	要保護児童対策地域協議会事業	要保護児童対策地域協議会代表者会議をH26年7月、オレンジキャンペーンをH26年11月、実務者会議を月2回、個別ケース検討会議を計254回、要保護・要支援の各ケースの見直しを3か月ごとに実施した。また、連携強化を深めるため、代表者会議後に幼・保・小・中・学童の教職員等も参加いただき研修を実施した。その他、民生児童委員、新採用教員等を対象に、要請に応じて研修を実施した。		こどもサポートセンター
②6	ひとり親家庭の生活の安定を図るため、経済的な支援を行うとともに、自立支援を促進します。	母子自立支援事業	ひとり親家庭の自立を支援するため高等職業訓練促進費を14世帯に支給		こども課
②7	子育て世代のニーズ調査を行い、ニーズに即したサービスの提供を図ります。	子ども・子育て支援事業計画策定事業	・子ども・子育て会議を5回開催 ・H26年10月子ども・子育て支援事業計画の「量の確保」に対する「確保方策」の検討し素案を策定 ・子ども・子育て支援事業計画(案)のパブリックコメントをH27年1月5日～2月3日に実施 ・H27年3月子ども・子育て支援事業計画策定完了		こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	62.3	B	子育ての不安や親子の孤立化を少しでも軽減し、楽しく子育てできるよう、様々なつながりができるようなたちでのひろば事業や、拠点事業、子育てプログラムを実施した。健康課、こども課、子育て支援総合センターが連携をとりながら、それぞれの家庭の事情に応じたきめ細やかな対応をし、必要な家庭に対しては、子育て相談に繋げることもできてきている。26年度からは養育支援訪問事業も実施している。結果として、児童虐待予防にも効果をあげていると考える。 ファミリー・サポート事業の活動件数は減少したが、他の子育て支援サービス(延長保育等)の充実によるところが大きい。今後は、別の側面からの増加を検討したい。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	35.6		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

221幼稚園教育

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	1	幼稚園教育
4年後のまち	①	幼稚園、保育園、学校、家庭及び地域の連携のもと、幼児一人ひとりの発達の特徴を活かした就学前教育が進んでいる。
	②	幼児たちがのびのびと学び育つ安全・安心な環境が整えられている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 幼稚園、保育園、学校、家庭及び地域の連携のもと、幼児一人ひとりの発達の特徴を活かした就学前教育が進んでいる。				設問② 幼児たちがのびのびと学び育つ安全・安心な環境が整えられている。			
回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価
そう思う	34	7.0%	9.6	そう思う	67	13.4%	16.7
どちらかというと思う	95	19.4%	26.8	どちらかというと思う	151	30.1%	28.2
どちらとも言えない	155	31.7%	43.7	どちらとも言えない	134	26.7%	16.7
どちらかというと思わない	47	9.6%	13.2	どちらかというと思わない	30	6.0%	1.9
そう思わない	24	4.9%	6.8	そう思わない	19	3.8%	0.0
わからない	112	22.9%		わからない	77	15.4%	
無回答	22	4.5%		無回答	23	4.6%	
総数	489	100.0%		総数	501	100.0%	
有効回答数	355		54.8	有効回答数	401		63.5
全設問の平均						59.2	

2-1 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	幼稚園と小・中学校との連携事業数(件)	幼稚園(全9園)と小・中学校が相互に訪問し、体験入学や遊びなどを通じて交流する事業の件数。 小学校への移行が円滑に行われ、安心して学校生活が送れるよう、平成29年度には1園当たり12事業以上の連携を目指します。		H26	H26
				92	103
担当課	教育指導課・こども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>	指標の把握方法(数値の出所) 幼稚園・小中学校からの実施報告	
2	市立幼稚園の耐震化率(%)	2階建て又は200㎡以上の建物の棟数に対して耐震基準を満たしている棟数の割合。園児の安全を確保するため、計画的に耐震化を進めます。		H26	H26
				75	82
担当課	こども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>	指標の把握方法(数値の出所) 施設台帳からの調査結果	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

221幼稚園教育

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①2	保護者は、自らの役割を自覚し、よりよい家庭教育を進めている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	35	7.0%	29.9%	29.9
取り組んでいる	42	8.4%	35.9%	26.9
少し取り組んでいる	30	6.0%	25.6%	12.8
あまり取り組んでいない	2	0.4%	1.7%	0.4
全く取り組んでいない	8	1.6%	6.8%	0.0
無回答	38	7.6%		
該当しない	346	69.1%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	117		100.0%	70.1

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	就学前教育の充実を図るため、幼稚園と保育園、学校との連携を図り、国の動向や地域の状況等を踏まえ、こども園の開設に向けた取組を行います。	(仮称)南こども園開設事業	南幼稚園とみなみ保育園の園児の交流を8回実施。職員は検討会、ワーキング、先進地視察、合同PTA会議等、33回の話し合いを実施。懇話会1回、仮設園舎説明会と見学会で5回実施。南こども園開設に向けて、互いの教育・保育の融合に努める。		こども課
		高山認定こども園(仮称)	高山幼稚園、北俣保育園の職員の交流は5回実施。懇話会の設置については、来年度設置する予定。		こども課
①2	私立幼稚園、保育園との連携を深め、最新の知見を踏まえた教員研修等を合同で実施します。	生駒市幼稚園教育研究会	年間4回の研修の場を持ち、職員の資質向上に努めている。		こども課
①3	幼稚園・小学校・中学校・保育園の意見交換を積極的に行います。	保幼小中交流学習会	幼小の職員連絡会を実施したり、幼保の研修会を3回実施、園内教育研究会に参加しあったり、意見交流の場を持っている。		こども課
			地域ぐるみの児童生徒健全育成推進事業の一環として、保・幼・小・中学校の教職員が「子育て支援」「生徒指導」学ぶ場を、年に1度実施。 H26.8.26「地域と共にある学校づくりを進める」をテーマに県人権地域教育課 藤井指導主事他が講演。		教育指導課
①4	家庭教育学級を充実し、保護者へ子育てに関する情報提供を行います。	家庭教育学級事業	家庭教育学級活動回数 61回	各幼稚園家庭教育学級へ事業の運営を委託しているが、学級の役員へのなり手が少なく、今後継続して全園開催するには、人材の発掘・育成が課題となる。	生涯学習課
①5	アンケート調査など保護者や市民の意見を把握し、ニーズに合った就学前教育を実施します。	学校評価推進事業	幼稚園運営について自己評価を行い、その結果を公表する。また学校関係者評価委員会を設置し、アンケートや自己評価結果を基に学校関係者評価を受け、その公表に努めるとともに、その後の幼稚園経営計画の改善に役立てる。		こども課
①6	学校評議員会等を充実するとともに、学校関係者評価を実施し、自己評価の結果を公表します。	学校評議員会	各園3回学校評議員会を開催 学校関係者評価公表率100%達成		こども課
①7	スクールボランティアが活動できる範囲を拡大します。	スクールボランティア活動の拡充	地域の人たちに、自分の“得意”を生かして積極的に幼稚園に関わってもらい、地域と園の相互協力、連携の充実・強化を図る。		こども課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

221幼稚園教育

②1	幼児の安全を確保するため、園舎の耐震化を進めるとともに、施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	園舎の施設整備事業	生駒台幼稚園改修工事(平成27年9月開園) 南こども園開園に向けた改修工事等 ・南幼稚園解体・南幼稚園造成工事 ・南小学校北館改修工事(仮園舎)		こども課
		生駒台幼稚園改築事業	・H22年度に実施した耐震診断の結果改築が必要となったことから園舎の改築工事を実施する。 ・構造・規模 2階建て鉄骨構造 保育室10室 遊戯室1室 職員室、会議室各1室 ・改築工事中は生駒台小学校に仮設園舎を建設 ・H26年8月仮設園舎建築工事完了 ・H26年9月旧園舎解体工事完了 ・H26年10月新園舎建築着工 ・H27年9月開園	震災復興や東京オリンピック開催決定により建設需要の増加から建築資材の調達遅延や作業員不足により工期延長となる。(H27年8月15日完了)	こども課
②2	就学前教育の取組を分かりやすく公表します。	子育て支援事業	ホームページや園だより等で、幼稚園の教育活動全般について、保護者や地域に広く情報を提供する。		こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	59.2	B	全ての指標が目標値を達成し、また、市民の実感度はどの設問も50点を上回っているが、これは目指す「4年後のまち」の実現に向けた幼小地域の連携事業や保育環境の整備などの取り組みの効果であるものと考えられる。また、市民の役割分担も約70点と高い結果となっており、子育て支援事業の充実の効果等によって市民の取組意識が高まっていると推測できる。 行政の4年間の主な取組の面では、ソフト事業については、計画どおり進捗しているが、ハード事業における幼稚園の耐震化については、平成30年4月に解消される見込みである。 以上より、各々の進捗度を左のように判断した。分野全体としては、それぞれ設定した取組目標を概ね達成することができた。そして、まちづくりにおける市民の取組意識が高いことから、4年後のまちが概ね実現されていると判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	70.1		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	A
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

243スポ・レク

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	4	文化・スポーツ活動の推進
基本施策	3	スポーツ・レクリエーション
4年後のまち	①	体力や年齢に関わらず、誰でも、技術、興味、目的に応じて、生涯スポーツに親しむことで、心身ともに健康に暮らしている。
	②	子どもの体力・運動能力が向上している。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	体力や年齢に関わらず、誰でも、技術、興味、目的に応じて、生涯スポーツに親しむことで、心身ともに健康に暮らしている。				設問②	子どもの体力・運動能力が向上している。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	29	5.9%	7.6%	7.6	そう思う	23	4.6%	6.5%	6.5
	どちらかというと思う	144	29.4%	37.7%	28.3	どちらかというと思う	61	12.2%	17.1%	12.9
	どちらとも言えない	151	30.9%	39.5%	19.8	どちらとも言えない	167	33.3%	46.9%	23.5
	どちらかというと思わない	43	8.8%	11.3%	2.8	どちらかというと思わない	63	12.6%	17.7%	4.4
	そう思わない	15	3.1%	3.9%	0.0	そう思わない	42	8.4%	11.8%	0.0
	わからない	85	17.4%			わからない	125	25.0%		
	無回答	22	4.5%			無回答	20	4.0%		
	総数	489	100.0%			総数	501	100.0%		
	有効回答数	382		100.0%	58.4	有効回答数	356		100.0%	47.2
							全設問の平均			52.8

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向						
1	市内体育施設の利用者数(人)	市内体育施設(体育館、グラウンド、テニスコート、プール等)の年間利用者数。過去の利用者数の推移を踏まえ、施設の利便性の向上に努めながら利用者の増加を目指します。							
			<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>930,000</td><td>873,799</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	930,000	873,799
			目指す値	実績値					
H26	H26								
930,000	873,799								
指標の把握方法(数値の出所) 生駒市社会体育施設年報									
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 市民体育館の耐震工事、イモ山グラウンド等の改修工事に伴い施設を長期間閉鎖したため。							
2	市内各種スポーツイベントなどの参加者数(人)	市が主催する市民体育祭、市民体育大会、スポーツ教室などの参加者数。過去の参加者数の推移を踏まえ、平成29年度には10%程度の増加を目指します。							
			<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>18,400</td><td>20,661</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	18,400	20,661
			目指す値	実績値					
H26	H26								
18,400	20,661								
指標の把握方法(数値の出所) 生駒市社会体育施設年報									
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>							

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

243スポ・レク

3	子どもを対象としたスポーツイベントなどの参加者数(人)	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツをするきっかけとなるような事業の充実を図ります。		目指す値	実績値
				H26	H26
担当課	スポーツ振興課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	1,800	2,251
				指標の把握方法(数値の出所)	
				生駒市社会体育施設年報	

3 市民の役割分担 (市民1人でできること)【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①2	積極的にスポーツイベントなどに参加している。			
	回答	件数	比率	得点評価
	十分取り組んでいる	8	1.6%	1.7%
	取り組んでいる	31	6.1%	4.9%
	少し取り組んでいる	71	13.9%	14.9%
	あまり取り組んでいない	149	29.1%	31.3%
	全く取り組んでいない	217	42.4%	45.6%
	無回答	36	7.0%	
	総数	512	100.0%	
	有効回答数	476	100.0%	21.8

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題 (ある場合のみ)	担当課
①1	市民や事業者のスポーツ・レクリエーション活動の現状等を把握し、興味や関心を持つ活動を見つげられる機会を設けます。	スポーツに関する情報の提供事業	広報紙に毎月「集まれ！ちびっこアスリート」という記事を掲載し、市内で活動する子どもを対象とした団体等を紹介するとともに、スポーツやレクリエーションに関するイベント等の記事を広報紙やHPに掲載した。	スポーツ活動を行う市民はリピーターが大半を占めることから、スポーツ活動を行う市民の拡大に当たっては、今後も引き続き情報提供を通じた活動機会の創出を図っていく必要がある。	スポーツ振興課
①2	スポーツの楽しさを知るためのきっかけとなるようなイベントを開催します。	ファミリースポーツ紹介事業	スポーツの楽しさを知るきっかけづくりとして、各イベント時に家族で楽しむことができる軽スポーツなどのファミリースポーツを紹介し、体を動かすことを楽しむことができる機会を設けた。		スポーツ振興課
①3	市民、事業者などが必要とする情報を、より簡単な方法で入手できるようなシステムを構築します。	ホームページ等による情報発信事業	スポーツやレクリエーションに関する情報をホームページや広報紙等に掲載した。	スポーツやレクリエーションに関する情報を容易に取得可能にするシステムについては、ホームページリニューアル時に検討する必要がある。	スポーツ振興課
①4	地域でスポーツ・レクリエーション活動が活発に行われるような組織づくり、環境づくりを行います。	スポーツリーダーバンク登録紹介事業	市民のスポーツを活性化させるため指導者登録紹介制度を創設し、指導者登録紹介制度の利用指導回数10回以上を目標としたが、達成できなかった。指導回数:0回	制度を周知したものの、リーダーバンクの利用がなかった。	スポーツ振興課
①5	多様なニーズに対応した質の高いスポーツ指導者の育成や発掘を行います。	スポーツ指導者育成・発掘事業	新たなスポーツ指導者を発掘・育成するため、スポーツリーダーバンクの登録者数増加に向けた周知等を行うとともに、登録者の活用に向けたホームページの作成等を行った。	上記のとおり、リーダーバンクの活性化に向けた取組が求められる。	スポーツ振興課
①6	総合型地域スポーツクラブ推進に向けての啓発活動を行います。	総合型地域スポーツクラブ推進事業	総合型地域スポーツクラブに関する情報をイベント時に紹介するなど、総合型地域スポーツクラブの目的、活動等の紹介を随時行った。	総合型地域スポーツクラブの存在等に関していまだに浸透していない状況にあることから、更なる周知等による活動内容等を啓発していく必要がある。	スポーツ振興課

第5次生駒市総合計画 進管理検証シート

243スポ・レク

①7	市民のスポーツ活動への参加を促進するため、総合型地域スポーツクラブの設立等への支援を行います。	総合型地域スポーツクラブ設立支援事業	総合型地域スポーツクラブが実施する事業の広報紙への掲載や日本スポーツ振興センターの助成金を活用した総合型地域スポーツクラブ設立支援補助金等により市内の総合型地域スポーツクラブへの支援を行った。	財政的支援ではない既存の総合型地域スポーツクラブの発展に向けた環境整備を検討していく必要がある。	スポーツ振興課
①8	子どもから高齢者までが週1回以上、スポーツや運動に親んでもらうため、市独自のニュースポーツを1競技以上設置する。	生涯スポーツ支援事業	誰もが体を動かすことを楽しめる機会づくりのため、各イベント時に生涯スポーツとなる軽スポーツを体験できるコーナーを設置した。	主な取組のとおり市独自のニュースポーツの考案することが求められる。	スポーツ振興課
①9	スポーツ施設のバリアフリー化など市民がスポーツをしやすい環境づくりを進めます。	体育施設整備事業	生駒北スポーツスポーツセンターの整備に当たり、身障者用トイレとスロープ設置に係る工事及び設計業務を行った。	整備に当たっては、財政措置が必要となることから、市の財政状況を踏まえた上で整備が求められる。	スポーツ振興課
①10	サンヨースポーツセンターを市立の総合スポーツ施設として整備するとともに、生涯スポーツ活動の拠点施設として広く市民に開放します。	北部スポーツタウン事業	サンヨースポーツセンターを購入し、市立の総合スポーツ施設として整備のうえ、市民に開放した。	一通りの整備は終わったが、夜間照明をいまだ使用に供していないことから、使用開始に向けた調整が求められる。	スポーツ振興課
②1	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツするきっかけとなるような事業の充実を図ります。	子どもの体力向上事業	各種スポーツ教室やファミリースポーツの集い等の子どもを対象としたイベントを通じて子どもの体力向上につながる事業を展開した。 子どもを対象としたイベント事業の参加者数:2,251人		スポーツ振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	52.8	B	概ね計画どおりに取組を進めることができているとともに、成果においても一定程度は達成できていると考えているが、スポーツ活動を行う市民の割合拡大を図っていく取組を進めていくことが求められる。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	21.8		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

【進捗度の基準】 A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

411地域福祉活動

まちづくりの目標	4	いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち
施策の大綱	1	地域で助け合い、支え合う仕組みの整備
基本施策	1	地域福祉活動
4年後のまち	①	住民が地域福祉活動に参加しやすい環境が整い、住民同士の支え合いが広がっている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	住民が地域福祉活動に参加しやすい環境が整い、住民同士の支え合いが広がっている。			
	回答	件数	比率	得点評価
	そう思う	29	5.7%	6.7
	どちらかというと思う	109	21.3%	18.8
	どちらとも言えない	195	38.1%	22.4
	どちらかというと思わない	64	12.5%	3.7
	そう思わない	38	7.4%	0.0
	わからない	53	10.4%	
	無回答	24	4.7%	
	総数	512	100.0%	
	有効回答数	435	100.0%	51.6
	全設問の平均			51.6

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	福祉関係ボランティア登録団体数(団体)	市民活動推進センターららポート等に登録している福祉関係ボランティアの登録団体数。 過去からの団体数の状況を踏まえ、活動団体数を維持します。		H26	H26
	担当課			28	28
	高齡施策課			指標の把握方法(数値の出所) 市民活動推進センターららポートにて随時把握	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無>		
2	高齡者サロン等の数(箇所)	ボランティア等が主体となって運営する、高齡者が地域で気軽に集えるサロンの数。 サロン活動の普及啓発や人材育成などの取組を通じて、年間1箇所の増加を目指します。		H26	H26
	担当課			44	48
	高齡施策課			指標の把握方法(数値の出所) 地域ねっとマップ更新時に把握	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無>		
3	地域ねっこのつどいの参加者数(人)	地域で福祉活動をしているボランティアグループの参加者数。 高齡者を支えるボランティアが集い、情報共有する中で、自主的な活動の活性化とボランティア人数の維持を目指します。		H26	H26
	担当課			116	108
	高齡施策課			指標の把握方法(数値の出所) 当日参加者数	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無> ボランティアが参加する事業(交流会)であるので、出席は強制ではなく、任意のものである。そのため多少の増減はあるがおおむね毎年100人超えで推移しており高い数値と考える。		

## 第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

## 411地域福祉活動

## 3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①3 地域福祉活動へ積極的に参加している。				
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	18	3.6%	3.8%	3.8
取り組んでいる	39	7.8%	8.3%	6.2
少し取り組んでいる	80	16.0%	17.0%	8.5
あまり取り組んでいない	145	28.9%	30.9%	7.7
全く取り組んでいない	188	37.5%	40.0%	0.0
無回答	31	6.2%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	470		100.0%	26.3

## 4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	出前講座や広報紙等を通じて、市民の福祉に対する意識の醸成を図ります。	出前講座や広報紙等による啓発活動	広報紙への掲載による意識の醸成を行った。(H26.8月合併号等) 出前講座を実施(42回、1017人)		高齢施策課
①2	地域での支え合い、助け合いの推進と地域福祉の担い手の養成・育成を図ります。	地域ボランティア講座	地域ボランティア講座の開催(H26/10/29～12/10の6回の開催 参加者19名)		高齢施策課
①3	自治会等と連携し、高齢者サロンとして活動できる場所の拡大を図るとともに、高齢者サロン等の人材の育成や、活動を支援します。	サロンの立ち上げや運営にかかる情報提供	高齢者サロン立ち上げマニュアルを自治会及び民生・児童委員へ配布し、サロン立ち上げへの啓発活動を実施した。 平成26年度末のサロン数はH27年3月末で48箇所の設置があり、当初見込みを上回った。		高齢施策課
①4	ボランティア等により自主的に開催されているサロン等のネットワークづくりを行い、情報交換が行えるよう支援します。	地域ねっこのつどい	地域ねっこのつどい:参加者108名(H27/2/27)		高齢施策課
①5	地域福祉活動が効果的に機能するよう、市民活動推進センターららポートや社会福祉協議会、関係機関がそれぞれの役割を分担しつつ、連携を強化します。	関係機関の連携と情報共有	現在、各機関においてそれぞれの役割を分担し、福祉活動が行われている。	今後、各機関の連携が強化されるよう、行政が主体的に取り組む必要がある。	高齢施策課
①6	地域における高齢者の閉じこもりや孤立防止等の支援の充実を図ります。	サロン活動への支援	高齢者サロン立ち上げマニュアルを自治会及び民生・児童委員へ配布し、サロン立ち上げへの啓発活動を実施した。 平成26年度末のサロン数はH27年3月末で48箇所の設置があり、当初見込みを上回った。 (①3と同様)		高齢施策課
①6	地域における高齢者の閉じこもりや孤立防止等の支援の充実を図ります。	(仮称)高齢者見守りネットワーク	徘徊の恐れのある高齢者の事前登録制度と併せ、関係事業所による見守りネットワークの再構築を行った。 H26年度末登録者数:76人 登録事業所数:28事業所	今後、見守りの必要な高齢者を、地域の元気な高齢者が見守り、支えるシステムの構築を図っていく。	高齢施策課
		ひとり暮らし高齢者調査	民生委員・児童委員による、ひとり暮らし高齢者調査を実施するとともに、見守り活動を行った。		高齢施策課
		災害時要援護者避難支援事業	これまで、対象自治会を順次拡大してきたが、H26年度で全自治会を対象として事業を実施した。	高齢化が進む中、地域全体が高齢となり、支援員を選任することが難しくなっている。	高齢施策課
①7	地域包括支援センターなどの身近な地域における相談・支援体制を整え、安心して相談できる環境づくりに努めます。	地域包括支援センター事業	介護保険法の改正にあわせて実施予定の地域包括支援センターとしての拡充業務について、実施に向けた取組み体制を確立した。		高齢施策課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	51.6	B	すべての取り組みにおいて、4年後に向けて概ね計画通り進んでいる。 H26年に介護保険制度が大きく改正された中、地域包括ケアシステムの推進に向けて、今後、全庁的に取り組んでいく必要がある。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	26.3		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

421健康づくり

まちづくりの目標	4	いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち
施策の大綱	2	健康づくりの推進
基本施策	1	健康づくり
4年後のまち	①	健診や地域の活動により、生活習慣病の予防、改善が進み、元気で生きがいを持った市民が増えている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	健診や地域の活動により、生活習慣病の予防、改善が進み、元気で生きがいを持った市民が増えている。			
	回答	件数	比率	得点評価
	そう思う	38	7.8%	9.0
	どちらかというと思う	179	36.6%	31.9
	どちらとも言えない	158	32.3%	18.8
	どちらかというと思わない	25	5.1%	1.5
	そう思わない	21	4.3%	0.0
	わからない	56	11.5%	
	無回答	12	2.5%	
	総数	489	100.0%	
	有効回答数	421	100.0%	61.2
	全設問の平均			61.2

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値																					
1	特定健康診査の受診率 (%)	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査の受診率。40～74歳国保加入者の受診者数/40～74歳対象者数。受診率の向上を目指します。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>28.0</td><td>29.7</td><td>30.0</td><td>34.5</td><td>31.3</td><td>35.4</td><td>39</td><td>41</td><td>43</td><td>45</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	実績値	28.0	29.7	30.0	34.5	31.3	35.4	39	41	43	45	H26	H26
				年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29													
				実績値	28.0	29.7	30.0	34.5	31.3	35.4	39	41	43	45												
39	35.4																									
担当課	国保医療課	指標の把握方法(数値の出所)	生駒市特定健康診査等実施計画																							
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>																							
2	がん検診の受診率 (%)	市が実施主体であるがん検診の受診率。第2期健康いこま21計画での目標30%(平成34年度)を目指します。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>14.4</td><td>15.2</td><td>13.4</td><td>14.7</td><td>16.1</td><td>15.7</td><td>18.0</td><td>19.5</td><td>21.0</td><td>22.5</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	実績値	14.4	15.2	13.4	14.7	16.1	15.7	18.0	19.5	21.0	22.5	H26	H26
				年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29													
				実績値	14.4	15.2	13.4	14.7	16.1	15.7	18.0	19.5	21.0	22.5												
18.0	15.7																									
担当課	健康課	指標の把握方法(数値の出所)	各種がん検診受診対象者のうち受診した者の割合																							
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: ■有 □無> 国の施策により、乳がん・子宮がん健診の無料クーポン券対象者年齢区分が5年齢から1年齢に減少したことが影響したと考えられる。																							
3	週3回以上、朝食欠食している人の割合 (%)	特定健康診査質問票において「週3回以上朝食欠食している」と回答した人の割合。第2期生駒市食育推進計画の目標を基に、朝食を欠食する市民の割合の減少を目指します。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>5.6</td><td>5.2</td><td>4.2</td><td>3.8</td><td>5.4</td><td>4.4</td><td>3.4</td><td>3.2</td><td>3.0</td><td>2.9</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	実績値	5.6	5.2	4.2	3.8	5.4	4.4	3.4	3.2	3.0	2.9	H26	H26
				年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29													
				実績値	5.6	5.2	4.2	3.8	5.4	4.4	3.4	3.2	3.0	2.9												
3.4	4.4																									
担当課	健康課	指標の把握方法(数値の出所)	特定健康診査受診者の問診項目																							
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 ■無> アンケート調査は毎年実施しておらず、若年層の状況が反映されていないことが要因として考えられる。																							

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	健康や食、運動に関心を持っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	180	35.2%	36.9%	36.9
取り組んでいる	171	33.4%	35.0%	26.3
少し取り組んでいる	99	19.3%	20.3%	10.1
あまり取り組んでいない	22	4.3%	4.5%	1.1
全く取り組んでいない	16	3.1%	3.3%	0.0
無回答	24	4.7%		
総数	512	100.0%		
有効回答数	488		100.0%	74.4

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	特定健康診査やがん検診についての情報提供の方法を工夫し、地域での受診意識等の向上を図ります。	特定健康診査等推進事業	25年度の受診率は電話勧奨が振込詐欺の影響もあり32%と低迷したが、26年度は慎重に電話勧奨等を行い、現時点で34.7%で、県内市ではトップである。	最終集計では、35%を超える予想で25年度から3ポイント上がり、特定健診を開始して以来最高の数値であるが、目標水準の39%には至っていない状況である。	国保医療課
		個別通知、広報等による啓発事業	がん検診対象者には生駒市がん検診受診券等を、またがん検診推進事業対象者には無料クーポン券の個別通知を実施している。乳がん検診において、リコール事業を実施した。毎年、4月15日号の広報いこまちには、がん検診保存版を、また各種がん検診強化月間にはがん検診の啓発記事を掲載している。	リコール事業は、受診率の向上を見込めるが、効果的な対象者群の選定が必要である。	健康課
①2	特定健康診査・保健指導・各種検診（胃がん・乳がん・大腸がん・肺がん等）を実施します。	特定健康診査等推進事業	25年度の受診率は電話勧奨が振込詐欺の影響もあり32%と低迷したが、26年度は慎重に電話勧奨等を行い、現時点で34.7%で、県内市ではトップである。	最終集計では、35%を超える予想で25年度から3ポイント上がり、特定健診を開始して以来最高の数値であるが、目標水準の39%には至っていない状況である。	国保医療課
①2	特定健康診査・保健指導・各種検診（胃がん・乳がん・大腸がん・肺がん等）を実施します。	各種がん検診事業	平均受診率15.7%（胃9.0%、子宮21.6%、肺8.2%、乳18.7%、大腸21.2%）	国の施策により、乳がん、子宮がん検診の無料クーポン券対象者年齢区分が5年齢から1年齢に減少したことが影響したと考えられる。	健康課
①3	健康づくりリーダーやサポーターの育成と活動の場を提供します。	健康づくりリーダー養成事業	健康づくりリーダー養成講座を実施。5回コースで、24人(延べ参加者94名)の参加があり、研修終了後は、健康づくり推進員として活動を開始。		健康課
①4	食育推進リーダーを育成し、地域での活動を推進します。	健康づくりリーダー養成事業	健康づくりリーダー養成講座終了者は、健康づくり推進員として活動を開始。食育推進事業部には55名が所属し、「親と子の料理教室」「学童保育児料理教室」や地域の食育講師として活動。		健康課
①5	食育推進計画に基づき、食育推進を図ります。	食育推進事業	食育週間の啓発事業、各種出前講座、親子料理教室、男性料理教室、各種イベントでの食育、働き盛りを対象とした食育等を実施。新規事業として、小学生メニューコンテストを実施した。		健康課
①6	ホームページ、広報紙、イベント、地域の回覧等で、健康や食、運動への知識や関心を高める情報発信を進めます。	福祉と健康のつどい	福祉と健康のつどい来場者1,750人。特に喫煙防止については、がん検診会場や世界禁煙デーイベント及び中学校での講座開催等により啓発（肺がん検診受診者2,516人）		健康課
①7	食事・運動など生活習慣改善のための健康教室を実施します。	各種健康教室	はじめてのウォーキング講座(年3回)、撃退余分3きょうだい(年2回)、糖尿病教室(年1回)、各種出前講座(3回)を実施。	教室により参加率に差があったり、再受講者の多い教室もあり、啓発や勧奨の方法について検討が必要である。	健康課
①8	市民・地域活動・事業者が意見を交換できる機会を設けます。	食育ラウンドテーブル	健康づくり推進員、生産者、流通関係者、PTA、教育現場、行政職員で構成する「いこまち食育ラウンドテーブル」を年に3回開催し、食育推進計画の進捗状況の確認や、各団体の食育に関する取り組みについての情報交換を行った。		健康課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	61.2	B	がん検診受診率は、国の制度変更により、やや低迷してきている。健康づくりリーダー養成講座修了者のほとんどが、生駒市健康づくり推進員として活動を開始し、年々その活動領域は拡大し、多くの市民を巻き込んだ健康づくり事業が展開しつつある。また、食育推進については、各種団体の取り組みが定着化しつつあり、また新たな取り組み(小学生メニューコンテスト)への良い反響があったことから概ね順調に進捗していると判断。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	74.4		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

431医療

まちづくりの目標	4	いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち
施策の大綱	3	医療サービスの充実
基本施策	1	医療
4年後のまち	①	地域の医療機関が連携し、市民が安心して暮らせる医療体制の整備が進んでいる。
	②	緊急時、災害時において迅速かつ効率的な救急救命活動を行う体制が整っている。
	③	市立病院が開院され、市民への医療サービスが充実しているとともに、健全な病院経営が行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	地域の医療機関が連携し、市民が安心して暮らせる医療体制の整備が進んでいる。				設問②	緊急時、災害時において迅速かつ効率的な救急救命活動を行う体制が整っている。					
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価		
	そう思う	61	12.2%	13.3%	13.3	そう思う	49	9.6%	11.6%	11.6	
	どちらかというと思う	190	37.9%	41.3%	31.0	どちらかというと思う	103	20.1%	24.4%	18.3	
	どちらとも言えない	150	29.9%	32.6%	16.3	どちらとも言えない	168	32.8%	39.8%	19.9	
	どちらかというと思わない	42	8.4%	9.1%	2.3	どちらかというと思わない	70	13.7%	16.6%	4.1	
	そう思わない	17	3.4%	3.7%	0.0	そう思わない	32	6.3%	7.6%	0.0	
	わからない	28	5.6%			わからない	64	12.5%			
	無回答	13	2.6%			無回答	26	5.1%			
	総数	501	100.0%			総数	512	100.0%			
	有効回答数	460		100.0%	62.8	有効回答数	422		100.0%	54.0	
設問③	市立病院が開院され、市民への医療サービスが充実しているとともに、健全な病院経営が行われている。										
	回答	件数	比率	得点評価							
	そう思う	51	10.4%	13.5%	13.5						
	どちらかというと思う	143	29.2%	37.9%	28.4						
	どちらとも言えない	137	28.0%	36.3%	18.2						
	どちらかというと思わない	23	4.7%	6.1%	1.5						
	そう思わない	23	4.7%	6.1%	0.0						
	わからない	101	20.7%								
	無回答	11	2.2%								
	総数	489	100.0%								
	有効回答数	377		100.0%	61.7						
全設問の平均						59.5					

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向							
1	小児科患者の市内救急搬送率(%)	本市消防本部が小児科へ救急搬送した患者のうち市内医療機関の小児科へ救急搬送した割合。 現状値が22.5%であり、病院開院後の平成29年度に60%を目指します。 ※市内医療機関には、西奈良中央病院及び奈良西部病院を含む。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>22.5</td><td>35.6</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	22.5	35.6
			目指す値	実績値						
			H26	H26						
22.5	35.6									
指標の把握方法(数値の出所) 本市消防本部への調査結果										
担当課 病院建設課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>									
2	市内救急搬送率(%)	本市消防本部が救急搬送した患者のうち市内医療機関へ救急搬送した割合。 現状値が69.8%であり、病院開院後の平成29年度に80%を目指します。 ※市内医療機関には、西奈良中央病院及び奈良西部病院を含む。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>69.8</td><td>71.2</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	69.8	71.2
			目指す値	実績値						
			H26	H26						
69.8	71.2									
指標の把握方法(数値の出所) 本市消防本部への調査結果										
担当課 病院建設課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>									
3	市内病院への入院割合(%)	国民健康保険レセプトデータによる入院患者数全体に占める市内病院に入院した患者の割合。 現状値が31.4%であり、病院開院後の平成29年度に50%を目指します。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>31.4</td><td>37.2</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	31.4	37.2
			目指す値	実績値						
			H26	H26						
31.4	37.2									
指標の把握方法(数値の出所) 国民健康保険レセプトデータ										
担当課 病院建設課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>									

3 市民の役割分担 (市民1人でできること)【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	かかりつけ医を持つなど、普段から健康管理を心がけている。			
	回答	件数	比率	得点評価
	十分取り組んでいる	167	34.2%	34.8%
	取り組んでいる	151	30.9%	31.5%
	少し取り組んでいる	117	23.9%	24.4%
	あまり取り組んでいない	30	6.1%	6.3%
	全く取り組んでいない	15	3.1%	3.1%
	無回答	9	1.8%	
	総数	489	100.0%	
	有効回答数	480	100.0%	72.1

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

431医療

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	今後の高齢化の進展に対応した地域完結型医療の実現を目指し、地域の病院、診療所等及び介護施設・事業者との連携体制の強化を図ります。	市立病院整備事業	前年度に引き続き病院事業推進委員会医療連携専門部会において生駒市に必要な地域医療連携について検討を行う。医療連携専門部会を3回開催し、検討結果を病院事業推進委員会に報告（H26年11月）		病院建設課
①2	市内の救急医療体制等、地域医療に関する情報を提供します。	休日夜間応急診療事業	休日夜間応急診療 内科 3,792件 小児科 4,590件 広域外科・内科 2,843件 の受け入れを行った。		健康課
①3	障がい者、ひとり親家庭、子どもを対象に、その健康を保持するため、医療費を助成します。	福祉医療費助成事業	こども医療費助成事業の拡大し、中学校卒業まで入院時の医療費の自己負担分を無償化（ひと月1医療機関あたり500円又は1000円の負担金有） 条例整備、医師会等関係機関との調整、市民への周知、システム改修等を行い、目標どおりH26年度当初からスムーズに実施できた。	こども医療費助成事業の更なる拡大に向け、財源や実施時期の検討が必要。（近隣自治体の状況を勘案し、中学校卒業までの通院時の医療費の自己負担分の無償化（ひと月1医療機関あたり500円又は1000円の負担金有）を検討中。）また、助成方法の変更（現物給付化）についても検討課題である。	国保医療課
①4	かかりつけ医を持つことを推奨します。	ホームページや広報紙での啓発	未実施		健康課
②1	緊急時、災害時において、市、消防及び市医師会との協力・連携体制を確立し、負傷者等の迅速な救急救命活動を実施します。	災害時における医療救護についての協定書に伴う事業	・市立病院の建設工事を工程どおり進める。（H27年3月） ・使用料及び手数料条例案を提案（H26年3月）し可決。 ・指定管理者との運営及び施設管理に関する取り決めの協議未定 ・病院事業推進委員会にて病院事業計画の改定及び年度協定について、答申できていない。	・指定管理者との運営及び施設管理に関する取り決めの協議については、まず、工事の竣工と病院の開院を優先させたので決定するに至っていない。 ・病院事業計画の改定及び年度協定については、図面変更、工事費が確定していないと作成できない部分があり、また、工事竣工後に指定管理者と協議が必要であるため。	健康課
②2	望ましい救急外来の利用に関する知識の普及啓発を図ります。	ホームページや広報紙での啓発	小さな子どもを持つ保護者向けリーフレット「子どもの救急」を作成し、出生届・転入届の際に配布し、有症状時の相談先についての情報提供を行った。また、WEBサイト「ママフレ」にも同様の記事を掲載し周知を行った。		健康課
②3	大規模災害時に、市立病院において医療機能の確保、傷病者の救護、受入れに対応できるような緊急対応機能を整備します。	市立病院整備事業	病院建物に免震構造を採用し、非常時電源、給水設備、備蓄スペース等を整備した。		病院建設課
③1	二次救急医療及び小児二次医療などの政策医療を担う地域の中核的な病院機能を整備します。	市立病院整備事業	病院建物に免震構造を採用し、非常時電源、給水設備、備蓄スペース等を整備した。 （③1と同様）		病院建設課
③2	病院の管理運営に市民等の意見を反映させるため、市民や地域医療関係者を含めた、市立病院管理運営協議会を設置します。	市立病院管理運営協議会の設置	病院事業推進委員会において管理運営協議会の枠組みを検討。平成26年11月20日に開催された、第15回病院事業推進委員会において、「管理運営協議会に係る検討について」の諮問についての答申（生駒市管理運営協議会設置要綱案）を得て、平成27年1月13日に要綱を策定する。		病院建設課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度（行政）	進捗度の理由
市民実感度	59.5	C	指標については目標値を達成しているが、市立病院開院前のため他の要因によるものと判断する。開院後に実施された市民満足度調査による市民実感度は約60点と一定程度取り組まれている。また、市民の役割分担約72点と取り組まれている状況にある。行政の4年間の主な取組については、市立病院の開院後に目標達成に向けた取り組みを進める必要がある。 以上より、各々の進捗度を左のように判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	72.1		
行政の4年間の主な取組	一部進捗していない取組がある		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

## 6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

441高齢者保健福祉

まちづくりの目標	4	いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち
施策の大綱	4	高齢者の生活を支えるサービスの実施
基本施策	1	高齢者保健福祉
4年後のまち	①	高齢者が介護予防への取り組みや社会参加を通じて、健康で生きがいを持って生活している。
	②	高齢者が安心して、住み慣れた地域で暮らせる見守り体制が整っている。
	③	介護保険制度の運営が健全に維持され、個々の状態に応じた適正なサービスが提供されている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	高齢者が介護予防への取り組みや社会参加を通じて、健康で生きがいを持って生活している。				設問②	高齢者が安心して、住み慣れた地域で暮らせる見守り体制が整っている。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	31	6.2%	7.6%	7.6	そう思う	40	7.8%	9.5%	9.5
	どちらかというと思う	128	25.5%	31.3%	23.5	どちらかというと思う	92	18.0%	21.9%	16.4
	どちらとも言えない	194	38.7%	47.4%	23.7	どちらとも言えない	174	34.0%	41.4%	20.7
	どちらかというと思わない	41	8.2%	10.0%	2.5	どちらかというと思わない	70	13.7%	16.7%	4.2
	そう思わない	15	3.0%	3.7%	0.0	そう思わない	44	8.6%	10.5%	0.0
	わからない	78	15.6%			わからない	70	13.7%		
	無回答	14	2.8%			無回答	22	4.3%		
	総数	501	100.0%			総数	512	100.0%		
	有効回答数	409		100.0%	57.3	有効回答数	420		100.0%	50.8
設問③	介護保険制度の運営が健全に維持され、個々の状態に応じた適正なサービスが提供されている。									
	回答	件数	比率	得点評価						
	そう思う	31	6.3%	8.8%	8.8					
	どちらかというと思う	93	19.0%	26.3%	19.7					
	どちらとも言えない	164	33.5%	46.3%	23.2					
	どちらかというと思わない	37	7.6%	10.5%	2.6					
	そう思わない	29	5.9%	8.2%	0.0					
	わからない	122	24.9%							
	無回答	13	2.7%							
	総数	489	100.0%							
	有効回答数	354		100.0%	54.2					
全設問の平均				54.1						

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	介護予防等の事業実施回数(回)	市、地域活動団体及び民間事業者による健康づくり、生きがいづくり、介護予防等の事業実施数(一次予防事業)。高齢者の増加を見込んで実施回数の増加を目指します。		
担当課			目指す値	実績値
高齢施策課			H26	H26
			640	1,055
			指標の把握方法(数値の出所)	
			実績報告等において介護保険課で把握	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	
2	認知症サポーター養成数(人)	認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を応援する人(サポーター)の養成数。引き続き、養成講座等を実施し、年間300人程度のサポーターを養成することを目指します。		
担当課			目指す値	実績値
高齢施策課			H26	H26
			2,800	3,904
			指標の把握方法(数値の出所)	
			事業計画及び事業報告書等にて介護保険課で把握	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	
3	地域密着型サービス事業所数(箇所)	市内の地域密着型サービス事業所の数。要介護や要支援状態となっても可能な限り、住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。計画期間中にグループホーム、認知症対応型デイサービスセンター各1ヶ所の整備を目指します。		
担当課			目指す値	実績値
介護保険課			H26	H26
			11	11
			指標の把握方法(数値の出所)	
			事業計画及び事業報告書等にて介護保険課で把握	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

3 市民の役割分担(市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	早い時期から健康づくり、生きがいづくり、介護予防に積極的に取り組んでいる。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	33	6.6%	7.0%	7.0
取り組んでいる	72	14.4%	15.3%	11.5
少し取り組んでいる	85	17.0%	18.0%	9.0
あまり取り組んでいない	135	26.9%	28.7%	7.2
全く取り組んでいない	146	29.1%	31.0%	0.0
無回答	30	6.0%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	471		100.0%	34.7

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

441高齢者保健福祉

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	健康づくり、介護予防への取組として運動教室や講座を実施するとともに、積極的な参加を促すための啓発を行います。	介護予防事業の推進	第6期介護保険事業計画において「日常生活支援総合事業」に位置づけが必要な事業の量と質の確保を図るための事業を市内全域に対象者を拡大して展開する。 ・通所型介護予防事業(延寿・きらめき192回、幸楽96回、合計年間288回開催) ・訪問型介護予防事業(年間47回開催) ・転倒予防教室(年間47回開催) ・ひまわりの集い(計82回、たけまる49回、こぐま24回、サロン9回) ・地域ケア会議(年間12回開催)		高齢施策課
①2	介護予防が必要な高齢者の早期把握のため、生活機能評価を実施します。	生活機能低下者把握事業	要支援・要介護認定を受けていない高齢者に対して、要支援・要介護認定に移行前のハイリスク者を早期に把握するために実施する。 生活機能評価の実施率 73.6% 生活機能評価未返送者の実態把握 延人数505人		高齢施策課
①3	高齢者が生きがいをもって働ける場の拠点として、シルバー人材センターの一層の活用と機能強化に向けた支援を行います。	シルバー人材センターへの支援	シルバー人材センターの活性化に向け、補助金の交付、また、運営への参画を行った。		高齢施策課
①4	地域福祉の担い手を養成します。	地域ボランティア講座	地域ボランティア講座の開催(H26/10/29～12/10の6回の開催 参加者19名)		高齢施策課
②1	認知症サポーター養成講座等の実施により、認知症への理解を深め、地域での見守り体制を整え、安心して過ごせる環境づくりを進めます。	認知症サポーター等養成事業	認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を応援する人(サポーター)を養成するための講座を実施し、年間300人のサポーターの養成を目指す。 認知症サポーター養成数 1120人 事業開始からの要請延人数 3904人		高齢施策課
		徘徊高齢者模擬訓練	徘徊高齢者の発見・声掛け・保護などの訓練を通じて、認知症の高齢者への接し方等地域住民が役割を理解し、地域全体で認知症の人を見守る体制づくりを進める。 実施回数2回 参加者数59人		高齢施策課
②2	地域包括支援センターを核として地域のネットワークづくりを行います。また、センターの効率的な運営を推進します。	地域包括支援センター事業	地域包括支援センターの包括的支援事業の実施にかかわる基準条例を平成26年12月議会で可決した。		高齢施策課
②3	高齢者の緊急時の支援対策を行うとともに、緊急時に対応できるよう、地域や関係機関との連携により支援体制の充実を図ります。	緊急通報システム	緊急性の高い疾患を持つ高齢者に対し、緊急通報装置の設置を行っている。 H26年度末利用者数: 109人		高齢施策課
		位置情報提供システム	徘徊の恐れのある高齢者に対し位置情報端末を貸出している。 H26年度末利用者数: 6人		高齢施策課
		(仮称)高齢者見守りネットワーク	徘徊の恐れのある高齢者の事前登録制度と併せ、関係事業所による見守りネットワークの再構築を行った。 H26年度末登録者数: 76人 登録事業所数: 28事業所	今後、見守りの必要な高齢者を、地域の元気な高齢者が見守り、支えるシステムの構築を図っていく。	高齢施策課
		ひとり暮らし高齢者調査	民生委員・児童委員による、ひとり暮らし高齢者調査を実施するとともに、見守り活動を行った。		高齢施策課
		災害時要援護者避難支援事業	これまで、対象自治会を順次拡大してきたが、H26年度で全自治会を対象として事業を実施した。	高齢化が進む中、地域全体が高齢となり、支援員を選任することが難しくなっている。	高齢施策課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

441高齢者保健福祉

②4	高齢者の権利擁護の取組を推進します。	高齢者虐待防止にかかる関係機関との連携	高齢者虐待の相談や事案が増加する中、医師、福祉事業者、警察等、関係機関と高齢者虐待の情報や対応方法を共有し、高齢者虐待防止に向けた連携体制を構築する。 また、困難事例について専門家の指導助言を受け、的確に対応できる体制を構築する。 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会の立ち上げ ・立ち上げ26/9/26 (委員 10名) ・研修会 27/2/17 弁護士による高齢者虐待の実態についての講義と事例検討会を実施した。		高齢施策課
③1	市民・地域団体・関係機関・事業者等に対し、介護保険制度に係る情報提供を行います。	どこでも講座・窓口等での案内	・どこでも講座 介護保険制度、介護予防(各年1回) ・寿大学講座(年5回) ・地区民生委員研修(年6回)		介護保険課・高齢施策課
③2	介護サービスの質と量の適正な確保に努めます。	介護保険運営協議会を設置し事業計画策定	介護保険運営協議会10回及び予防部会5回の審議を経て、高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画を策定した。		介護保険課
③3	介護保険制度の適正化事業を推進します。	医療との突合・給付費通知発送	介護給付適正化のスケジュールに基づいて下記の事業を実施した。 ・要介護認定の適正化の実施 認定調査票全件チェック(平成26年度申請件数4,594件) ・介護給付費通知を送付 年2回各被保険者へ利用実績の通知を行う。(平成26年度9月3,828件、3月3,828件)		介護保険課
③4	介護事業者への適時適切な情報提供を行うとともに、資質の向上のため指導を充実します。	事業所への実地調査	実地指導の実施 ・地域密着型サービス事業所に対して、実地指導を実施(平成26年度実績 2件) ・県監査室との合同による介護事業者への実地指導を実施(平成26年度実績 4件) ・居宅支援事業者協会開催の研修会での情報提供(年間3回) ・市ホームページの事業者向けページの更新		介護保険課
③5	介護保険事業計画に基づき、地域のニーズに応じた介護施設の基盤整備を図ります。	グループホーム、認知症対応型デイサービスセンターを各1ヶ所開設	グループホーム1ヶ所・認知症デイサービス1ヶ所を整備した。		介護保険課
③6	介護保険料確保のため、口座振替納付の推奨など、納付しやすい環境づくりに努めます。	口座振替納付の推奨	新たに資格取得する被保険者に口座振替納付の申込書を個別に送付した。		介護保険課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	54.1	B	すべての取り組みにおいて、4年後に向けて概ね計画通り進んでいる。平成26年度に介護保険制度が大きく改正された中、地域包括ケアシステムの構築に向け、関係機関、団体と連携を強化しながら事業を進めており、目標値を上まわる実績であった。しかしながら、市民の実感度や役割分担における進捗度が低いと、更なる市民周知への啓発が必要である。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	34.7		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

442社会保障

まちづくりの目標	4	いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち
施策の大綱	4	高齢者の生活を支えるサービスの実施
基本施策	2	社会保障
4年後のまち	①	市民が国民年金の制度を理解し、年金保険料を支払っている。
	②	国民健康保険制度等の健全な運営が図られ、誰もが安心して医療を受けている。
	③	生活保護制度が適正に運用され、生活に困窮している方の自立支援、就労支援が行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	市民が国民年金の制度を理解し、年金保険料を支払っている。				設問②	国民健康保険制度等の健全な運営が図られ、誰もが安心して医療を受けている。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	51	10.2%	13.3%	13.3	そう思う	69	13.5%	15.8%	15.8
	どちらかというと思う	86	17.2%	22.4%	16.8	どちらかというと思う	167	32.6%	38.3%	28.7
	どちらとも言えない	143	28.5%	37.2%	18.6	どちらとも言えない	129	25.2%	29.6%	14.8
	どちらかというと思わない	60	12.0%	15.6%	3.9	どちらかというと思わない	46	9.0%	10.6%	2.6
	そう思わない	44	8.8%	11.5%	0.0	そう思わない	25	4.9%	5.7%	0.0
	わからない	100	20.0%			わからない	52	10.2%		
	無回答	17	3.4%			無回答	24	4.7%		
	総数	501	100.0%			総数	512	100.0%		
	有効回答数	384		100.0%	52.6	有効回答数	436		100.0%	62.0
設問③	生活保護制度が適正に運用され、生活に困窮している方の自立支援、就労支援が行われている。									
	回答	件数	比率	得点評価						
	そう思う	10	2.0%	3.4%	3.4					
	どちらかというと思う	46	9.4%	15.9%	11.9					
	どちらとも言えない	155	31.7%	53.4%	26.7					
	どちらかというと思わない	46	9.4%	15.9%	4.0					
	そう思わない	33	6.7%	11.4%	0.0					
	わからない	182	37.2%							
	無回答	17	3.5%							
	総数	489	100.0%							
	有効回答数	290		100.0%	46.0					
	全設問の平均				53.5					

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向						
1	国民年金制度についての啓発回数(回)	国民年金制度への理解を促し、確実な保険料納付につながるよう、国民年金制度の周知や保険料納付督促についての啓発を広報紙やホームページを媒体として定期的に行います。							
			<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>10</td><td>18</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	10	18
			目指す値	実績値					
H26	H26								
10	18								
指標の把握方法(数値の出所) 広報紙・ホームページへの掲載回数									
担当課	高齢施策課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>						
2	国保被保険者一人当たり医療費(円)	医療費(診療費を含む)/平均被保険者数。高齢化及び医療の高度化により増加していく傾向にありますが、国や県とともに進める医療費の適正化等により、現状の水準を維持することを目指します。							
			<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>336,000</td><td>330,019</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	336,000	330,019
			目指す値	実績値					
H26	H26								
336,000	330,019								
指標の把握方法(数値の出所) 国民健康保険事業状況報告書(事業年報)より									
担当課	国保医療課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>						
3	就労支援達成率(%)	厚生労働省の指導による取組であり、生活保護受給者の就労の度合いを示します。安定した収入を得て自立できるように、就労支援や指導を行います。							
			<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>12.0</td><td>80</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	12.0	80
			目指す値	実績値					
H26	H26								
12.0	80								
指標の把握方法(数値の出所) 個別ケースを積算して算出									
担当課	保護課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>						

3 市民の役割分担 (市民1人でできること)【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	20歳以上の市民は年金制度に加入し、年金保険料を納付している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	268	52.3%	77.2%	77.2
取り組んでいる	47	9.2%	13.5%	10.2
少し取り組んでいる	17	3.3%	4.9%	2.4
あまり取り組んでいない	7	1.4%	2.0%	0.5
全く取り組んでいない	8	1.6%	2.3%	0.0
無回答	30	5.9%		
該当しない	135	26.4%		
総数	512	73.6%		
有効回答数	347	100.0%		90.3

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

442社会保障

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	国民年金保険料未納等により、「無年金者」または「低年金受給者」の増加が予想されることから、広報紙等による年金制度の周知・啓発を図ります。	国民年金制度の周知・啓発事業	広報誌及びHPの掲載（各年9回）		高齢施策課
①2	年金相談等については、専門的な知識をもった相談員（社会保険労務士）の配置や分かりやすいパンフレット等を作成し、相談体制の充実を図ります。	国民年金相談事業	社会保険労務士3名配置		高齢施策課
①3	年金制度改正や充実について国への要望を実施します。	奈良県都市国民年金業務連絡協議会を通じた国への要望活動	奈良県都市国民年金業務連絡協議会を通じた国への要望活動		高齢施策課
②1	国民健康保険制度の給付内容や保険料負担など、周知・啓発の強化を図るとともに、医療費の適正化を進めていくための情報提供に努めます。	医療費適正化事業	ホームページや広報紙に国保の財政状況や医療費の適正化についての情報を掲載するとともに、各年度の恒例事業である「福祉と健康のつどい」及び「同講演会」を開催するなど、情報の提供に努め医療費の適正化に努めた。また、40歳以上の国保加入者に特定健診を安価に実施し、健康管理への意識付けを行っているが、受診率の向上のために、実施期間中途中において未受診者への電話勧奨を行うとともに、その結果、生活習慣病について直ちに治療が必要と判明した人に対し、治療勧奨を行った。	日常の健康管理は、医療費の抑制のためではなく、自分自身のために有益であることを伝えるよう努力しているが、浸透しにくい。効果的な方法の検討を継続する必要がある。 また、医療費は年度毎に、インフルエンザをはじめとする流行病の状況により変動するため、抑制が困難な面もある。	国保医療課
②2	国保保険料確保のため、口座振替納付の推奨など、納付しやすい環境づくりに努めます。	口座振替納付の推奨	広報紙、市HPなど各種媒体を活用し納付率の向上及び口座振替制度の推進を図る。 ①広報紙掲載9回及びHPにも9回掲載し納付、口座振替制度を勧奨した。 ②来庁者にチラシを配布し同様の啓発と納付困難な方について各種減免制度について丁寧な説明を行った。		国保医療課
②3	個人及び地域において、健康づくりを推進していけるような体制を整えます。	各種健康増進事業	各種がん検診・健康診査・歯科検診・肝炎検診・健康教育・健康相談を実施。がん検診については、1度に複数種類の検診が受けられるセット検診を実施。また休日にも検診を実施するなど、検診を受診しやすい環境づくりを行った。	生活保護者を対象とした健康診査については、受診者の利便性を考慮し、個別検診および集団健診を実施したが、受診率は15.7%で、特に集団健診の受診者数が少なかった。集団健診の機会提供は受診率の向上には効果的ではなかった。	健康課
		保健事業	各年度の恒例事業である「福祉と健康のつどい」及び「同講演会」を開催するとともに、40歳以上の国保加入者に特定健診を安価に実施し、健康管理への意識付けを行っている。	日常の健康管理は、医療費の抑制のためではなく、自分自身のために有益であることを伝えるよう努力しているが、浸透しにくい。効果的な方法の検討を継続する必要がある。	国保医療課
②4	事業者への適時・適切な情報提供を行い、指導の充実を図ります。	趣旨普及事業	調剤薬局とはジェネリック医薬品利用促進に関連して情報交換を行っているが、専門的な情報が多く、市から適時・適切な情報提供を行うまでには至っていない。	事業者（医療機関等）との情報交換の仕組みづくり（内容や頻度）が必要である。	国保医療課
③1	生活保護について、被保護者の状況や自立阻害要因を類型化し、それぞれの類型ごとに対応する個別の支援プログラムを策定します。また、これに基づき個々の被保護者に必要な支援を組織的に実施します。	生活保護受給者の自立支援	生活保護者の自立に向け、生活保護者の状況や自立阻害要因に対応した個々の被保護者に必要な就労支援や指導をハローワークと連携して取り組む。 対象者：50人 就労支援者：40人 ◎達成率 80%（目標達成率12%） 達成状況：66%	取組成果は、生活保護者自身の就労意欲等にも左右される。	保護課

## 第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

442社会保障

## 5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	53.5	B	一部未達成や効果が少ない取り組みもあるが、行政の活動が効果に即効で表れにくい本小分野においては、総体的に見れば、年金、国民健康保険、生活保護の各項目においても、指標においても、行政の主な取組においても、4年後のまちとして定めた目標の達成に向け進捗していると考えている。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	90.3		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

## 6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

451障がい者保健福祉

まちづくりの目標	4	いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち
施策の大綱	5	障がい者の生活を支えるサービスの実施
基本施策	1	障がい者保健福祉
4年後のまち	①	障がい者が住み慣れた地域の中で、自立して生活している。
	②	障がいのある人となない人が、互いに理解し、尊重し合う考えが広がっている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 障がい者が住み慣れた地域の中で、自立して生活している。				設問② 障がいのある人となない人が、互いに理解し、尊重し合う考えが広がっている。					
回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	22	4.4%	6.5%	6.5	そう思う	30	5.9%	7.5%	7.5
どちらかというと思う	74	14.8%	21.7%	16.3	どちらかというと思う	97	18.9%	24.3%	18.2
どちらとも言えない	161	32.1%	47.2%	23.6	どちらとも言えない	186	36.3%	46.5%	23.3
どちらかというと思わない	57	11.4%	16.7%	4.2	どちらかというと思わない	51	10.0%	12.8%	3.2
そう思わない	27	5.4%	7.9%	0.0	そう思わない	36	7.0%	9.0%	0.0
わからない	145	28.9%			わからない	84	16.4%		
無回答	15	3.0%			無回答	28	5.5%		
総数	501	100.0%			総数	512	100.0%		
有効回答数	341		100.0%	50.5	有効回答数	400		100.0%	52.1
						全設問の平均		51.3	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	市内の福祉サービスの事業所数(箇所)	市内にある福祉サービスの指定事業所数。 増加する障がい者数に対してサービス供給量を確保するため、事業所の増加を目指します。		H26	H26
				101	105
担当課	障がい福祉課	指標の把握方法(数値の出所)	県及び市が指定している件数。		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
2	障がい者理解に向けた啓発事業の回数(回)	講演会や相談会等の実施回数。障がい者に対する市民の理解を深めるとともに、住み慣れた地域における障がい者の生活支援の充実を図ります。		H26	H26
				5	14
担当課	障がい福祉課	指標の把握方法(数値の出所)	担当課職員が直接実施した実績回数		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

451障がい者保健福祉

3 市民の役割分担（市民1人でできること）市民満足度調査 平成27年6月実施

②1	障がい者や障がい特性への理解を深めている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	74	15.1%	15.6%	15.6
取り組んでいる	111	22.7%	23.5%	17.6
少し取り組んでいる	157	32.1%	33.2%	16.6
あまり取り組んでいない	83	17.0%	17.5%	4.4
全く取り組んでいない	48	9.8%	10.1%	0.0
無回答	16	3.3%		
総数	489	100.0%		
有効回答数	473		100.0%	54.2

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	関係機関と連携しながら、障がい者の雇用・就労の実態を踏まえ就労機会の拡大と雇用の安定を支援し、山麓公園の施設を就労支援施設として活用します。	障がい者優先調達推進法に基づく優先調達方針の策定	庁内の周知が徐々に図れつつあり目標額を上回る調達実績となった。 調達方針目標額=600,000円 調達実績=1,326,601円 主な品目=職員用名刺印刷・保育園のおやつ・給食用パン及びらぼーと清掃委託等		障がい福祉課
		障がい者の就労支援に係る授産品販売事業	庁舎内でのパンの販売や各種イベントでの授産品の販売を実施。		障がい福祉課
		就労支援施設の誘致	生駒山麓公園内のふれあいセンターの一部について指定管理者の運営による就労支援事業所等の指定を受ける。		障がい福祉課
①2	障がい者の支援施設の充実が図られるよう、支援します。	障がい者福祉計画の策定	障がい当事者アンケートや障がい者地域自立支援協議会での意見聴取、パブリックコメントを経て第4期障がい福祉計画を策定。		障がい福祉課
①3	障がい者の社会参加と自立生活を支援するため、地域生活支援事業の充実を図ります。	地域生活支援事業の充実	新規事業として成年後見法人後見支援事業を社会福祉協議会に委託し実施した。		障がい福祉課
		福祉センター事業の充実	手話通訳者の設置や各種教室やイベントの充実を努めた。		障がい福祉課
①4	障がい者を支援する事業者が適切なサービスを提供できるようサポートします。	サービス等利用計画作成マニュアルの作成や研修	サービス等利用計画が適正に作成できるための研修会の開催。計画作成マニュアルの配布を行った。 計画策定率=98%以上。		障がい福祉課
①5	住民や事業者代表等の参加による自立支援協議会の運営により、地域の課題の協議やネットワークを構築します。	障がい者地域自立支援協議会の運営	全体会を4回開催し、生活支援センター職員で構成する担当者を年6回実施。更に権利擁護部会やこども支援部会、就労支援部会の三専門部会を設置し、関係機関の連携及び協力のもと障がい者の地域課題解決のための活動を実施。		障がい福祉課
①6	市民活動推進センターららポートとの連携を図ります。	市民活動推進センターららポートとの連携	障がい者に配布する障害者福祉のしおり「あゆみ」でのららポートの登録ボランティア団体を紹介。		障がい福祉課

第5次生駒市総合計画 進管理検証シート

451障がい者保健福祉

①7	障がい者が適切にサービスを利用できるよう、各種相談機関や福祉施設等における相談機能の充実を図るとともに、関係機関が連携した支援体制を整えます。	障がい者生活支援センターの運営	障害種別ごとの支援センターを委託設置。障がい者に対する相談体制を更に強化するため緊急時等、24時間体制で対応できる体制を整備。		障がい福祉課
①8	個々の障がいの状態や家庭環境に応じて、障がい児や発達に遅れのある子どもの早期療育や相談体制の充実を図ります。	サポートブックの作成	サポートブック「たけまるノート」の作成及び配布を実施。配布部数:111冊 サポートブック有効活用のための支援者研修会の開催=10回		障がい福祉課
		障がい児相談支援事業	障がい児や発達の遅れのある子どものための相談支援センターを設置。		障がい福祉課
①9	障がい者が子育てすることへの支援に取り組めます。	障がい福祉サービスの支給決定	障がい福祉サービス支給決定者数=578人 児童通所サービス支給決定者数=354人(27年3月末)		障がい福祉課
②1	障害者週間やイベントなどの機会を通じて、障がい者を正しく認識し、理解するための啓発・広報活動に努めます。	あいさつボランティア養成事業	26年度養成人数=168人(総数207人) 実施回数=5回		障がい福祉課
		生駒市役所における障がい者職場体験受入事業	特別支援学校及び就労支援施設からの実習生の受け入れを行った。 受け入れ人数=14人 庁内受け入れ部署=4課		障がい福祉課
②2	障がい者の権利擁護のための取組を推進します。	障がい者虐待防止事業	24時間体制の障がい者虐待防止センターを設置。 虐待対応件数=3件		障がい福祉課
		成年後見制度推進事業	成年後見法人後見支援事業を生駒市社会福祉協議会に委託実施を行った。相談窓口の設置や実務者連絡会議等の開催。		障がい福祉課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	51.3	A	全ての指標が目標値を達成している。市民の役割分担は54点となっているが障がい者理解をさらにすすめるため市民の取組意識を高めていく努力が必要と思われる。 行政の4年間の主な取組については、各事業ごとに設定した目標水準を概ね達成し、水準を満たした事業の多くが予定目標を上回る結果となった。 以上より、各々の進捗度を左のように判断した。分野全体としては、それぞれ設定した取組目標を達成できているが、4年後のまちの実現についてはある意味ゴールのない取り組みでもある。市民ニーズの変化に応じつつ着実に取り組みを進めていきたい。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	54.2		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	A
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	